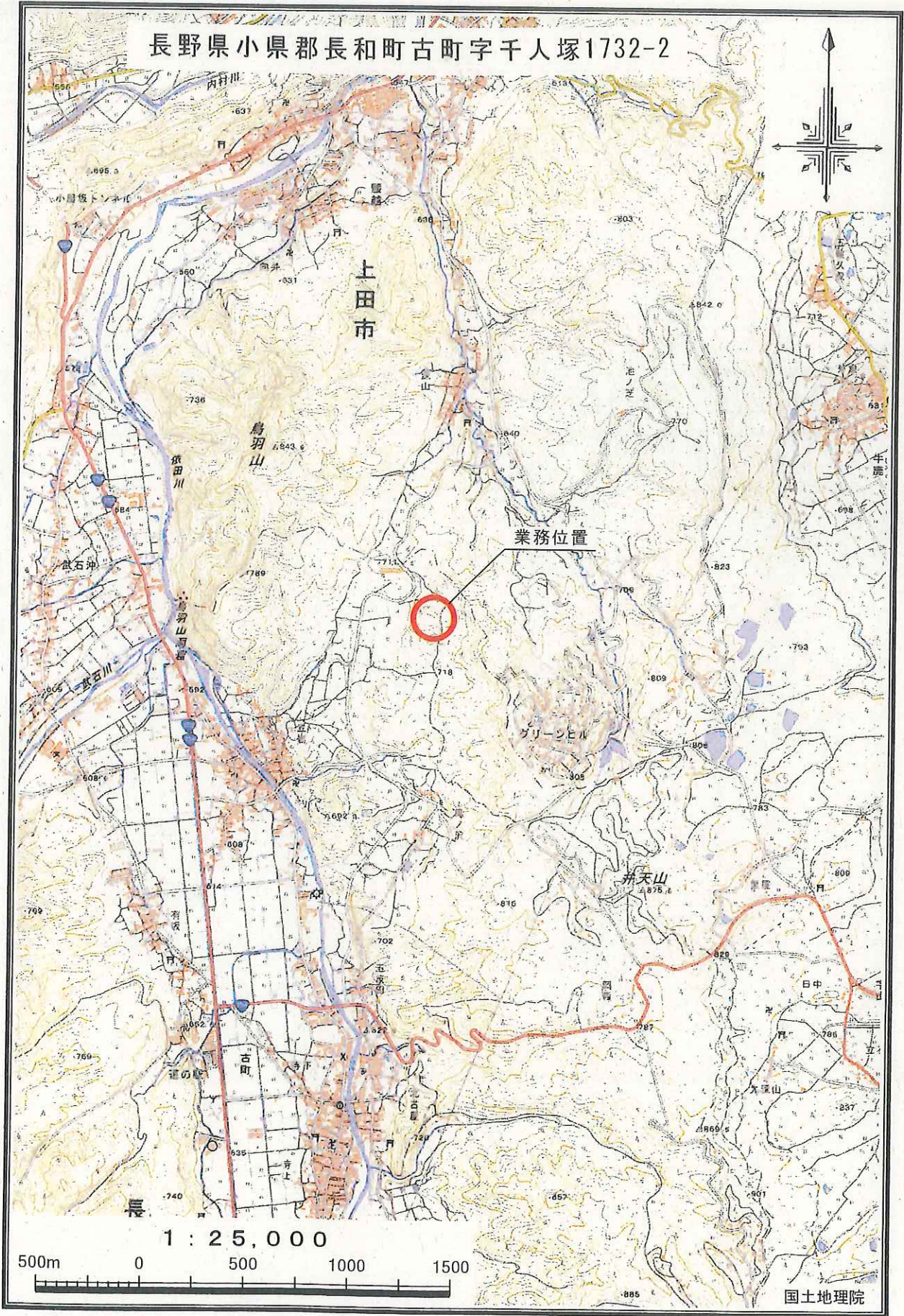
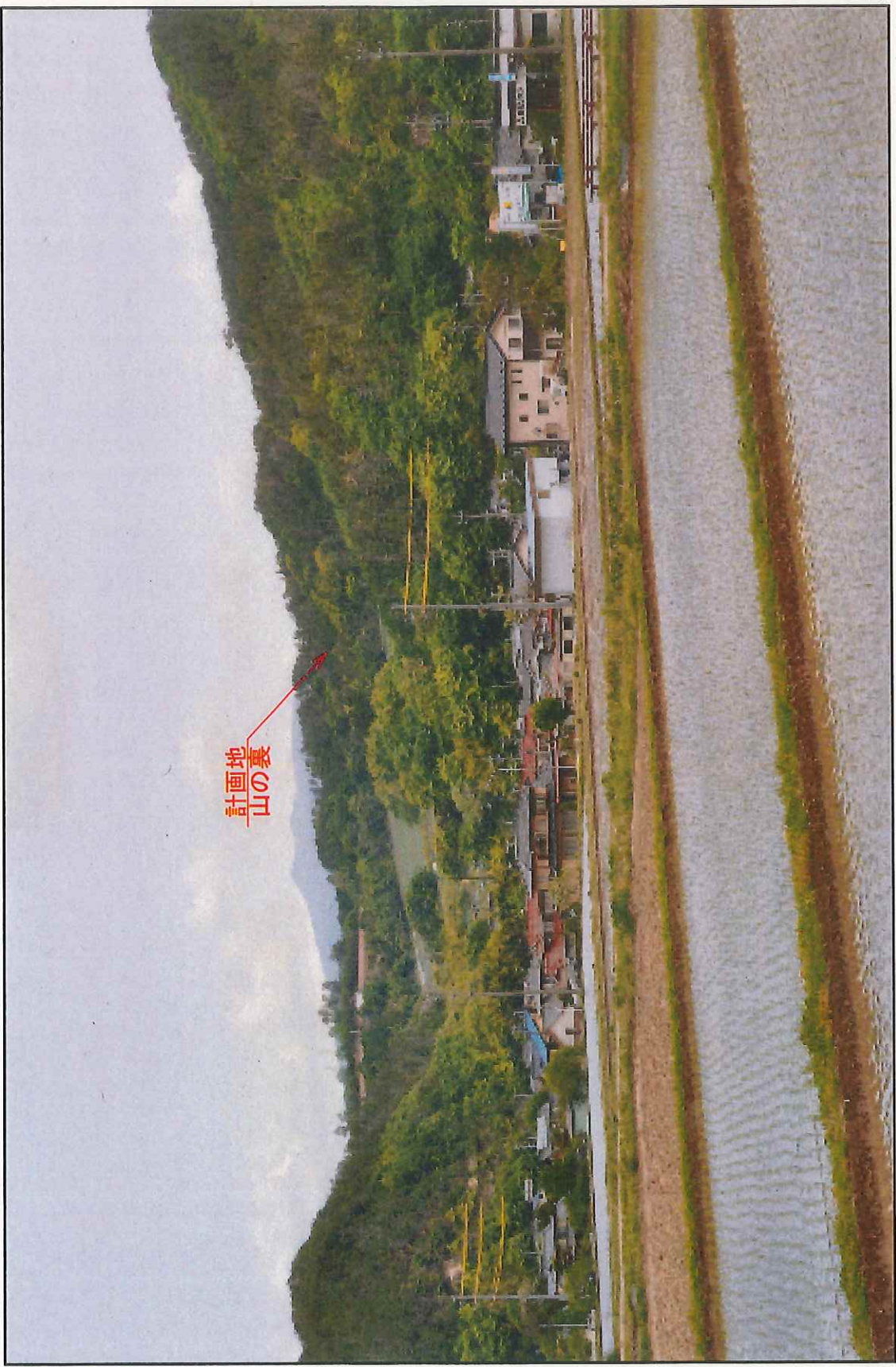


位置図

長野県小県郡長和町古町字千人塚1732-2



①



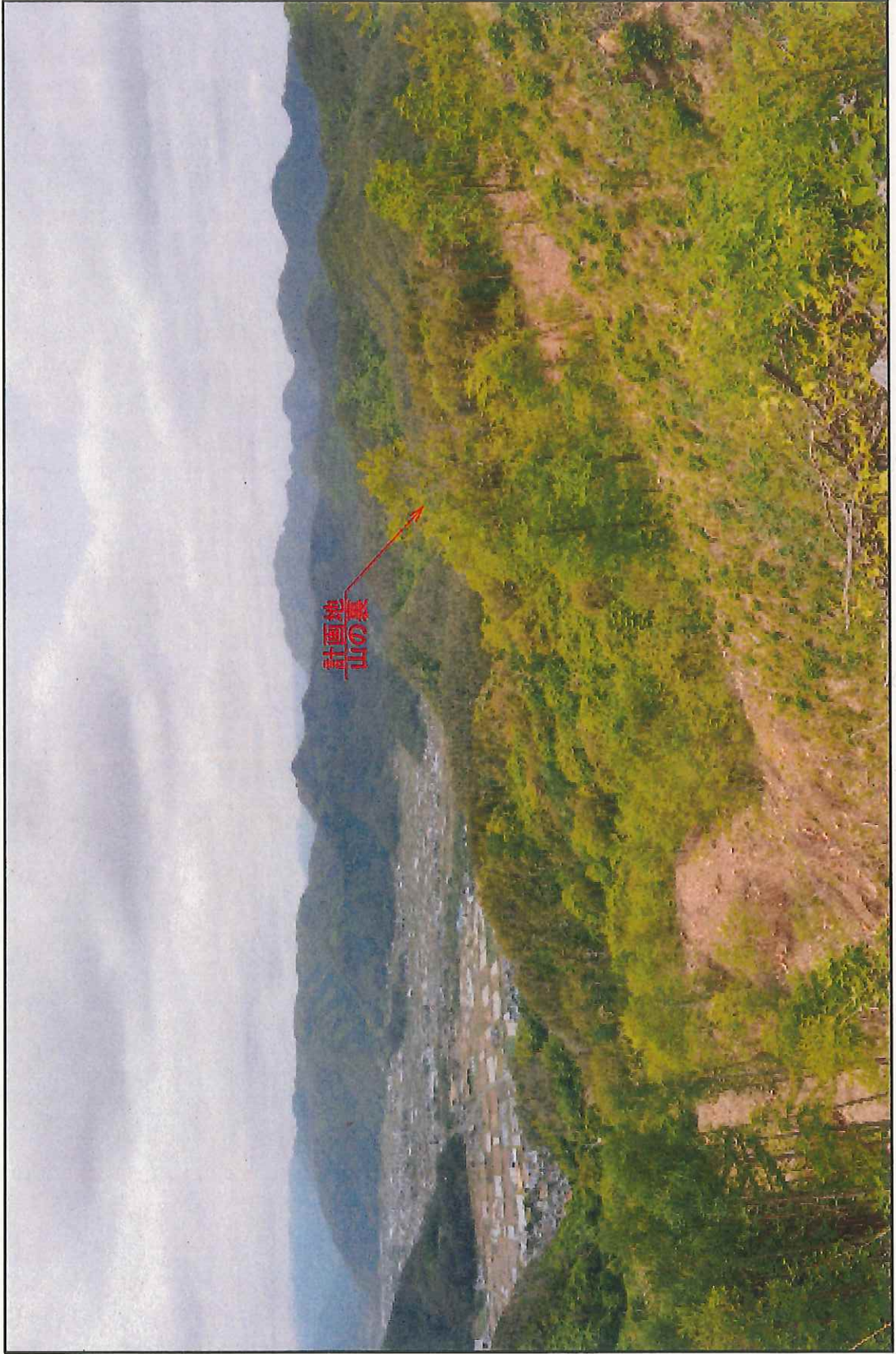
直接視準することは出来ません

②



直接視準することは出来ません

③



直接視準することは出来ません

(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	[REDACTED]
	住所	[REDACTED]
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	長和町立岩自治会 全150戸	
上記を説明対象とした理由	計画地の下流域に当たるため	
住民説明等の方法	住民説明会	
実施日時	令和元年11月23日(土) AM10:00(於:立岩浩三改善センター)	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	自治会長 他30名	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	国の買収制度終了後の跡地の対策はどうするのか	買収制度終了後も事業を継続する予定だが不可能な場合は施設を撤去し、植林を行う
2	撤去費用はどうするのか	撤去費用は積立を行う
3	大雨等に十分対処出来る様にしてほしい	雨水排水については30年確率で計算し十分余裕のある排水施設とします
4	土砂流出のないようにしてほしい	土砂流出防止柵を設置します
5	除草剤を使用しないでほしい	草刈りが必要な場合は人力(草刈機)で行い、除草剤は使用しません
6	維持管理を確実に行ってほしい	適切に維持管理を行います

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	計画地は山地部であるが、モトクロス練習場として利用されていた場所であり、周囲から計画地を視準することは出来ない。土地の造成はならし程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	周囲に公園等がなく、周辺集落からも視認出来ない。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	計画地は主要な道路や集落及び農地とも離れている。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	地形等により2ヶ所に分割して計画している。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	最低部で0.5m 最高部で2.0mとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路や公共的な眺望点からは視認出来ない。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	基礎はスクリー基礎とし、 角度は15°とした。 配列は東西方向のみとした。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	周辺に建築物等はない。 傾斜角は15°とし、山なりの傾斜としている。

	(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面が周辺道路から見えることはない。
--	-----------------------------------	--------------------

項目		配慮事項	配慮した内容	
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	低反射のものを使用した。	
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	黒色とした。 (N1.5)	
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	低反射のフレームとした。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	目立たないグレーとした。 (N3)
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	フェンスは周辺環境を考慮し、色はブロンズとした。 (10YR 2.0/1.0)		
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	最低必要限度とした。		
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	架台、パワーコンディショナー等はグレーとした。		
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	周囲が山林なので植栽はしない。		
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	計画地内の間地はクローバー等で緑化する。		
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	主要道路や住宅地が周辺にないため、反射の影響はありません。		

	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	定期的に適切な維持管理を行います。
--	--	-------------------

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。